

2023 年度
愛知県新体育館整備・運営等事業の取組状況について

本資料は、株式会社愛知国際アリーナが作成した事業報告書の記載を基に、愛知県としての分析・評価等を追加したものです。

1 事業概要

(1) 目的

現愛知県体育館は、夏の風物詩にもなっている大相撲名古屋場所の開催などを通じて、半世紀以上県民に親しまれている施設であるが、老朽化とともに規模・機能がスポーツの国際大会を開催するための国際基準を満たしていない。

このため、2026 年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会を始めとした国際大会に利用できるよう、愛知県新体育館の整備を進める。

整備から運営まで民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用する PFI 手法を導入し、スポーツやエンターテインメントのコンテンツを呼び込み国内外からの多くの集客につなげるとともに、県民のスポーツ・文化活動の拠点として「愛知・名古屋のシンボル」となる世界最高レベルのスマートアリーナとする。

(2) 事業手法

事業方式： PFI 手法「BT コンセッション方式」

事業期間： 設 計 ・ 建 設 2021 年 6 月から 2025 年 3 月（3 年 10 ヶ月間）
維持管理・運営 2025 年 4 月から 2055 年 3 月（30 年間）

事業者名： 株式会社愛知国際アリーナ

代表企業： < 設 計 ・ 建 設 時 > 前田建設工業株式会社
< 維持管理・運営時 > 株式会社 N T T ドコモ

2 施設の概要

施 設 名： 愛知県新体育館（IG アリーナ）

所 在 地： 名城公園北園の一部（名古屋市北区名城一丁目地内）

設置根拠： 愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例

設置目的： スポーツの振興及び県民の文化的教養の向上を図る

供用開始： 2025 年夏（予定）

施設概要： 計画地面積 約 46,000 m² 建築地面積 約 26,500 m²
延床面積 約 63,000 m² 階 層 4 階（地上 5 階建）
最 高 高 さ 41.0 m
メインアリーナ 約 4,600 m²
サブアリーナ 約 2,600 m²（多目的ホールとの合算）
最大収容人数 17,000 人（立ち見含む）

3. 業務別の主な取組内容（2023 年度）

（１）設計・建設業務

ア 業務概要

愛知県新体育館の設計・建設及びそれに伴う法令等で必要とされる手続きを行う。

イ 主な取組内容

- ・ 障害者団体等との意見交換（2022 年度実施）を踏まえ設計内容を変更し、指定確認検査機関へ変更建築確認申請を行い、2024 年 3 月 19 日に確認済証の交付を受けた。
- ・ その他、法令で必要とされる申請・届出を適切に処理した。
- ・ 2022 年度から建設工事に着手し、メインアリーナ部分の躯体工事、屋根工事や内装工事、サブアリーナ部分の躯体工事を実施した。
- ・ 2023 年度末時点の進捗率は 46.3%であった。労務不足等の影響により、着工時の計画(50%)を下回っているが、2023 年 11 月に見直し作成した工程表の予定通り進捗している。
- ・ 配筋や躯体の出来形の不備など施工上の不具合が 5 件発生し、内 4 件に対して是正指導を受けたが、適切に是正措置を行った。
- ・ 中長期修繕計画の策定に向けて基本的な考え方を整理した。
- ・ 設備・備品の内容を整理し、調達・設置工程を検討した。

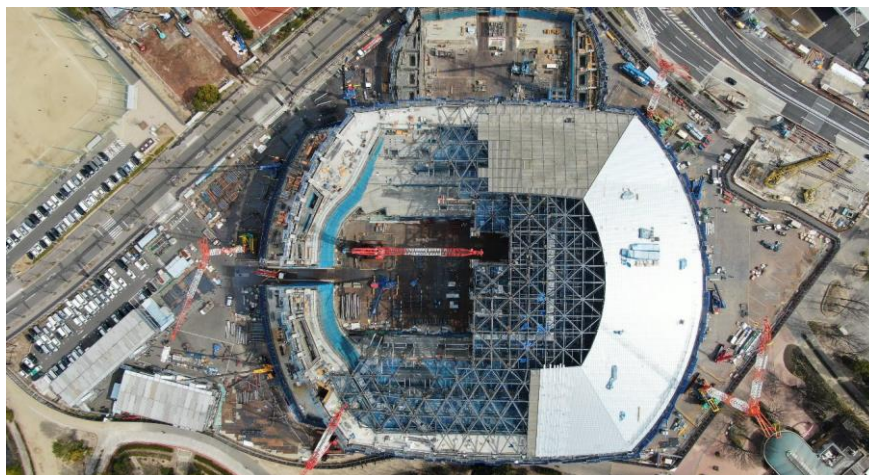
【愛知県による分析・評価】

設計業務については、2022 度に引き続きユニバーサルデザインの検討を進め、2022 度までの関係団体との意見交換を反映した設計に見直されたが、施工段階においても、引き続き関係団体を始めとする県民の意見を取り入れながら、より多くの県民が利用しやすい施設となるよう取り組むこと。

建設業務については、工程表の予定通り進捗させることができ、工事に関連する監理業務については、毎月の連絡会議で監理報告がされている。

是正措置については、適切に実施され再発防止策も講じられ、品質に影響がなく、工期への影響もないとの報告があったが、このような手戻りが繰り返されないよう引き続き適切に業務を実施していくこと。

さらに、県産材の活用、環境への配慮など、設計建設（設備・備品の調達・設置を含む）に関して提案した内容の実現に向け、引き続き検討を進めること。



上空写真【2024 年 3 月 19 日撮影】

（２）開業準備業務

ア 業務概要

施設の整備後、速やかに施設の維持管理・運營業務に移行できるよう、開業に向けた各種準備を行う。

イ 主な取組内容

- ・ 単独諸室（スタジオ等）及びメインアリーナ附属諸室（会議室等）の利用料金の基準額を定めた。
- ・ 予約システムについて、利用システムを選定し、管理方法の検討を進めた。
- ・ 興行主向けの営業資料や、一般利用者向けの広報資料を作成し、プロモーション活動を推進した。
- ・ 名城公園関係者の連絡会議に出席するなど、行政等と情報交換を行った。
- ・ 専門人材を登用し、イベント営業を本格的に開始した。
- ・ 定常興行（大相撲・バスケットボール）について誘致協議を行った。
- ・ ネーミングライツパートナーとの契約を締結し、アリーナ名称発表の記者会見を開催した。
- ・ スポンサーセールスの一環として、ホスピタリティエリア（スイート、プレミアムシート）のサービスに対する関心について、マーケットへのヒアリングを実施した。
- ・ 一般エリアの飲食サービスの業務委託先候補（優先交渉権者）を選定し、店舗構成・商品企画・販売計画等の検討を実施した。
- ・ ホスピタリティエリア（スイート、プレミアムシート）の飲食・接遇サービスの業務委託先候補（優先交渉権者）を選定し、商品開発・オペレーション計画等の検討を実施した。
- ・ 大型映像装置等の機種選定、発注及びシステム設計を実施し、ICT 機器の調達を開始した。
- ・ スマートフォンアプリの導入を決定し、飲食のモバイルオーダー機能やプレミアムシートのチケット購入機能の要件検討を実施した。

【愛知県による分析・評価】

メインアリーナ附属諸室等の利用料金基準額を定めた他、館内で提供するサービスについて検討を進めるなど、開業に向けて施設運用の準備が進められている。

また、イベント誘致に向けた活動やプロモーション資料の準備が進捗しており、本施設の定常興行として大相撲とバスケットボールの誘致を行うなど、施設の稼働率上昇に向けた取組が進められている。

さらに、ネーミングライツパートナーとの契約を始めとしてスポンサー関連事業が進められており、開業準備業務が推進されている。

円滑に開業を迎えられるよう、引き続き確実に準備を進めること。

(3) 統括マネジメント業務

ア 業務概要

業務全体の一元的管理を担い、本事業全体を安定的かつ円滑に進捗させるため、年度業務計画の作成や、各種業務に関するモニタリングを実施する。

また、組織全体の予算管理、財務諸表の作成、監査・決算対応などの総務・経理業務及び各種会議体の運営、人員採用・研修等の人事関連業務を行う。

イ 主な取組内容

- ・ マスタースケジュールを更新し、業務全体の一元的な管理を実施した。
- ・ 主な契約や決算、組織体制の変更等について、適時適切に県へ報告を実施した。
- ・ 代表取締役を2名体制に変更したほか、採用活動を強化し、イベント営業課、スポンサー営業課を設置するなど、組織体制を強化した。
- ・ 監査役会による第二次モニタリング及び第三者諮問委員会による第三次モニタリングを実施した。
- ・ ガバナンス基本計画に基づき、協議会、事業調整会議、連絡会議、第三者機関会合を開催した。※詳細は「4. 本事業におけるガバナンスについて」参照
- ・ プロジェクトファイナンスの主幹事金融機関を決定した。
- ・ 運営開始に向けた KPI の検討に着手した。
- ・ 会計監査人の監査を適切に実施し、6 月には本決算を株主総会で報告した。

【愛知県による分析・評価】

事業者自身によるセルフモニタリング、監査役会による第二次モニタリング及び外部有識者による第三次モニタリングを適切に実施し、県への報告が適切になされている。

業務全体の一元的な管理を実施し、積極的な採用活動を行い、組織体制を強化するなど、計画通り進められている。

その他、業務実施体制の確保や、総務・経理業務においても特段の問題は確認されていない。

引き続き世界トップレベルのアリーナの実現に向けて、各構成企業の持つ強みを十分に発揮して、事業を推進していただきたい。

4. 本事業におけるガバナンスについて

(1) ガバナンス実施体制について

本事業において、県と事業者で合意した特定事業契約上のガバナンス基本計画に基づき、各種会議体を設置している（下図のとおり）。事業者は各業務の進捗状況等に関するセルフモニタリングを行い、結果を会議体の場で県に報告する。

県は、報告内容の確認や現地確認等により、要求水準書の充足についてモニタリングし、必要に応じ、是正措置（注意、是正指導、是正勧告）及びペナルティポイントの計上、違約金の請求を行うこととしている。

また、外部統制の仕組みとして、複数の有識者により構成する第三者機関を設置し、客観的な立場から県と事業者の協議促進、相互信頼の構築・回復を図るための助言を受けることとしている。

【図：各種会議体について】

会議体名	参加者	開催頻度
協議会	県スポーツ局長	不定期（最低年1回程度）
	事業統括責任者	
事業調整会議	県スポーツ局愛知国際アリーナ課長	半期に一度程度
	事業実施責任者	
連絡会議	県スポーツ局長が指名するもの	月一度程度
	代表取締役社長が指名するもの	

(2) 主な実施状況等

連絡会議を、2023年度から設計・建設業務と運営業務に分け、毎月各1回開催するとともに、協議会と事業調整会議を各1回開催し、各業務の実施状況や課題について確認した。

また、第三者機関による協議会に対するヒアリングは1回開催された。(株)愛知国際アリーナから2022年度 of 取組状況並びに2023年度業務計画及び進捗状況を報告するとともに、第三者機関の各構成員から、事業に関する意見や助言を受けた。

その他、設計・建設業務について、ガバナンス基本計画に基づく是正措置の方法を定めた。2023年度中に、施工上の不具合でガバナンスチェック体制の中での見落としがあった4件について、是正指導があった。また、統括マネジメント業務において、内部資料の漏洩が発生し、重要な連絡や報告内容の不備があったため、1件の是正指導があった。

【愛知県による分析・評価】

ガバナンスに関する取組みについては、年間を通じて適切に行われている。

2023年度中に5件の是正指導を行っているが、是正指導への対応は適切に実施されている。このような事案が発生しないよう、引き続き適切なガバナンス体制の構築に努めること。

なお、指導より重い是正措置である是正勧告に該当する事案はなかった。

5. 愛知県による年間総評

2023 年度は開業までの準備段階の年度であり、施設の設計・建設が進むとともに、運営に向けた準備が行われた。

アリーナ本体工事が着々と進む中、開業に向けた一層の人員体制強化を行い、イベント誘致を本格化するなど、施設整備と運営の両面において、着実に進んでいることが確認できた。

全体としては順調に事業が推進されているところではあるが、引き続き世界トップレベルのアリーナの実現に向けて、各構成企業の持つ強みを十分に発揮して、事業を推進すること。

【総合評価】

概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。（「愛知県指定管理者制度ガイドライン」で示された評価基準（4 段階評価）のうち 2 番目に高い評価に相当。）



外観パース図【2023 年度時点】